

Zホールディングス株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、Zホールディングス株式会社（以下「本法人」）が発行する第20回無担保普通社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年7月28日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本債券は国内インターネットセクターにおいて初のグリーンボンドとなり、本法人は本債券の発行により調達する資金を、本法人で利用するPUE（Power Usage Effectiveness：データセンター等のエネルギー効率を測定する指標）1.5未満を満たす、エネルギー効率の高いデータセンターの建設や改修などの投資およびデータセンターの運営に必要な再生可能エネルギーの調達資金に充当します。

グリーンボンドの発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）が定める「グリーンボンド原則 2018」および環境省が定める「グリーンボンドガイドライン 2020年版」に基づくグリーンファイナンス・フレームワークを策定し、それらへの適合性に関して、第三者評価としてサステイナリティクスより、セカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上